

第4回 研究者交流会

タイム デザイン を考える

日時 平成26年12月9日(火)

場所 学術情報総合センター1階 文化交流室

第一部

講演 14:40~15:50

「生活時間からつくるWLB」

講師 城西国際大学 福祉総合学部
品田 知美 准教授
博士(学術)



2001年：東京工業大学大学院社会理工学研究科価値システム専攻博士課程修了 博士(学術)

第二部

討論セッション 16:00~17:00

「WLBと無償労働時間」

経済学部・杉田先生のゼミ生と講演講師のセッションを中心に、
フロアとのディスカッションを行います。

皆様のお越しをお待ちしています!!

お問い合わせ 大阪市立大学 女性研究者支援室
〈Tel〉 06-6605-3661
〈E-mail〉 ocu-support-f@ado.osaka-cu.ac.jp

平成25-27年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「女性研究者研究活動支援事業(一般型)」

主催：大阪市立大学 女性研究者支援室 協力：経済学部 杉田菜穂ゼミ

第4回 研究者交流会

タイム[🕒]デザイン を考える

日時 平成26年12月9日(火) 14:40~17:00

場所 大阪市立大学 杉本キャンパス
学術情報総合センター1階 文化交流室

講師紹介

「生活時間からつくる WLB」

講師 城西国際大学 福祉総合学部 **品田 知美** 准教授

講師プロフィール

1988年：早稲田大学を卒業後環境系シンクタンクにて研究員として勤務

1995年：東京工業大学大学院理工学研究科社会工学専攻修士課程修了

2001年：東京工業大学大学院社会理工学研究科価値システム専攻博士課程修了 博士(学術)

2011年まで：立教大学、明治学院大学、日本大学、早稲田大学、亜細亜大学、駒澤大学、名城大学、椋山女学園大学・非常勤講師、
東京工業大学世界文明センター・フェローを兼任

2012年より城西国際大学福祉総合学部(子ども福祉コース)

<著書・論文等>

著書：

『家事と家族の日常生活—主婦はなぜ暇にならなかったのか』2007年,学文社.

『揺らぐ子育て基盤—少子化社会の現状と困難』2010年,勁草書房.

『近代家族のゆらぎと新しい家族のかたち』2012年,八千代出版.

論文：

『無償労働の時間配分と社会福祉政策：日本、イギリス、オランダの3カ国比較から』2007年7月,『季刊家計経済研究』(No75).

『家族の食卓と炊事時間』2009年7月,『食文化誌ヴェスタ』,No.75, (財)味の素食文化センター.

『親の子どもに対するかわりかたはどう変化したか』2011,『家族形成と育児,第3回家族についての全国調査第2次報告書第3巻』,日本家族社会学会全国家族調査委員会

<研究分野> 社会学

生活時間、持続可能なライフスタイル



お申込み・お問い合わせ先

大阪市立大学 女性研究者支援室

<HP> <http://www.wlb.osaka-cu.ac.jp/>

<E-mail> ocu-support-f@ado.osaka-cu.ac.jp

<Tel> 06-6605-3661